

こんにちは 野々市市議会です



「りんご飴」

作者：野々市市立布水中学校3年生 寺井 咲藍さん

6月定例会議案審議・議決結果一覧 2 P
各委員会の主な質問と答弁 3 P
6月定例会一般質問 6人が登壇 4 P
議会アンケートの結果報告② 10 P
議会改革・活性化特別委員会視察報告 11 P
9月定例会日程 12 P

令和4年度一般会計補正予算 コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者 等への支援などに3億2,584万円を追加



令和4年第3回6月定例会は、6月6日から24日まで開かれました。
令和4年度一般会計補正予算や旧野々市市立栗田保育園の園舎の無償譲渡など議案12件が市長から、意見書提出に関する議案1件が議会から提出され、すべての議案を全員一致で可決、承認しました。また、人権擁護委員の候補者推薦の人事案件1件を全員一致で適任としました。

令和4年度一般会計補正予算には、令和4年度から新たに住民税の均等割が非課税となった世帯と、令和4年1月以降にコロナ禍で家計急変のあった世帯を対象に、1世帯あたり10万円を給付する「住民税非課税世帯臨時特別給付金」に係る予算7,526万円や、低所得のひとり親世帯と、その他低所得の子育て世帯に、国給付分と市の独自給付分を合わせて対象児童一人あたり7万5千円を給付する「子育て世帯生活支援特別給付金」に係る予算8,468万5千円などが計上されています。

議決結果一覧

議案番号		件名	議決日	議決結果	梅野智恵子	朝倉雅三	小堀孝史	向田誠市	北村大助	馬場弘勝	安原透	西本政之	中村義彦	杉林敏	辻信行	早川彰一	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第31号	専決処分（令和3年度野々市市一般会計補正予算第12号）の承認について		6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第32号	専決処分（令和3年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算第3号）の承認について		6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第33号	専決処分（令和3年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算第2号）の承認について		6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第34号	専決処分（令和3年度野々市市介護保険特別会計補正予算第4号）の承認について		6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第35号	専決処分（野々市市税条例等の一部を改正する条例）の承認について		6月24日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第36号	令和4年度野々市市一般会計補正予算（第2号）について		6月6日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第37号	令和4年度野々市市一般会計補正予算（第3号）について		6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第38号	野々市市議会議員選挙及び野々市市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について		6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第39号	野々市市本社機能立地促進のための市税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例について		6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第40号	財産の無償譲渡について		6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第41号	市道路線の廃止について		6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第42号	市道路線の認定について		6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて		6月6日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第3号	食料危機のもとでの国産食料の増産、食料自給率向上、農家経営支援強化を求める意見書		6月24日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

○=賛成、×=反対 ※議長（中村 義彦）は採決に加わりません。

各委員会の主な質問と答弁

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

6月6・16・20・23の4日間

Q 住民税非課税世帯臨時特別給付金の対象となる「令和4年1月以降にコロナ禍で家計急変のあった世帯」の定義は。

A 令和3年度の給付金と同様、対象世帯の任意の1か月の収入を12倍し年収に換算したうえで、世帯人員を勘案して、非課税世帯相当に該当するかどうかを判断する。

Q 新生児用品購入支援事業について、子育て世帯への生活不安の軽減、経済支援ということでの応援券だが、使い道は新生児用品購入に限定されるのか。

A 応援券を使用できる店舗は、おもつ等を取り扱っているようなところを中心に選定している。薬局等でも利用できるので、たばこ等は禁止しているが、食料品等の購入には使用できる。本事業の目的から、保護者には新生児用品に使ってほしいという旨を周知している。



プレミアム商品券のチラシ

Q プレミアム付き商品券を発行する事業に1億円計上されているが、これまでに発行した商品券と同じ中身なのか。

A 令和2、3年度に発行したプレミアム付き商品券と同様であり、1冊1万3千円分の商品券を

Q 特殊詐欺被害防止対策機器1万円で販売し、3万冊準備する。購入補助事業について、上限1万円で30万円が予算計上されているが、予算を上回る申請があった場合、打ち切りとなるのか。対象となる高齢者とは65歳以上の者か。

A 予算額30万円を上回る申請があった場合には、速やかに補正して対応したい。65歳以上の高齢者のみの世帯を対象とするが、同居親族がいる場合や夫婦どちらかが65歳未満である場合でも、詐欺被害にあつ可能性があるがあれば対象とする。

Q 旧野々市市立栗田保育園の園舎を譲渡する事業者は、いつ保育園跡地で開業する予定か。

A 順調にいけば令和6年度当初に開業を予定している。



旧野々市市立栗田保育園

人事

人権擁護委員
北本 直美（太平寺四丁目）



岩見 博 議員
(日本共産党)

「義務教育費は、無償とする」としている憲法 26条の通り学校給食費の無償化で家計応援を

学校給食法の規定により、光熱水費及び食材
費については保護者負担と定められている

また、経済的な理由から給食費の負担が困難な御家庭には、生活保護や就学援助制度により給食費全額を補助するなど支援を行っていることから、学校給食費の無償化は考えていない。

A 教育長 ● 学校給食法の規定により、市は学校給食施設の設備や運営、職員の人件費などを負担し、光熱水費及び食材費については保護者負担と定められている。

Q 本市の給食費は平均すると小学校で月5320円、中学校で月6360円、小学生と中学生の二人いる世帯では月11680円にもなる。この際、「義務教育費は、無償とする」としている憲法第26条の通りに給食費も無償とするのが一番の家計応援の対策ではないか。教育に予算をかけることは経済成長にとって負担になることではない。穴水町が2学期から無償にするなど、県内においても学校給食無償化の流れはもう止めることはできない。無償化を決定してはどうか。

小学生と中学生二人で月1万1680円の負担に
県内でも無償化の流れに



A 市長 ● 県の今回の対象年齢の引上げということについては、県の考えで取り組まれたことで、その分の捻出される財源の使い方については、総合的な子育て施策も含めて考えていかなければならないと思っており、検討の段階です。

Q 県は、乳幼児の医療費助成を実施する自治体に対し、2023年度から通院費助成の対象年齢を現行の3歳未満から就学前までに引き上げ、親の所得制限を撤廃する。県からの補助が増える分を財源に、1回500円、月1000円の窓口負担をなくすることを優先して実施する考えはないか。

県の乳幼児医療費助成拡大を受け市の子ども医療費窓口無料化を

A 教育部長 ● 令和4年度の新学期から、中学校の女子トイレに生理用品を配備しており、各学校とも1か月に100個程度の利用状況となっている。小学校の女子トイレに配備については、養護教諭や教職員の現場の状況を聞いた上で、早急に対応していきたい。

Q 4月から市立中学校の女子トイレに生理用品が配備された。配備される前と後の利用状況と、生理は小学生からも始まることから、小学校の高学年用トイレにも生理用品を配備できないか。

小学校のトイレにも生理用品の配備を

市長——
窓口無料化も検討の対象とする

Q 検討の中身に無料化についても入っているということ

A 市長 ● 全ての子育て施策とということに対しての検討の対象とさせていただきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/YwC_rgybg9M

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



大東 和美 議員
(公明)

パートナーシップ宣誓制度導入 時期はいつ頃予定していますか

12月の「人権週間」をめどに、進めてまいりたいと思います

A 市長 ● 虐待の早期発見や見守りについて、小中学校や公

国のこども家庭庁設置、「こどもまんなか社会」実現をめざすために

Q 「LGBTQ+」の理解促進の本市の取り組み現状について伺います。

A 市長 ● 昨年度策定した「野々市市第3次男女共同参画プラン」において「多様性を認め合い自分らしさを生かせるまち」とし、多様性への理解促進のため3つの施策について、「市民への周知・啓発」、昨年11月にLGBTQをテーマにした映画を上映し、「全国中学生人権作文コンクール」入選作品の朗読を行い、「市職員の学習機会の確保」として、ハンドブックの作成作業を進めている。「性的少数者への支援」、昨年ひき続き『金沢プライドウィーク2022』を後援、「パートナーシップ宣誓制度」の導入に向け先進自治体との情報共有に努めている。

Q 子どもの権利が守られているかチェック体制について伺います。

「子ども基本法」の制定、こどもの権利が守られているかチェック体制について伺います。

Q 「子ども版ケアマネ」を創設してはいかがでしょうか。

A 市長 ● 令和3年4月から「子育て世代包括支援センター」を2か所開設。母子健康部局と子育て支援部局が連携。支援内容には支援プランの作成や必要な福祉サービスにつながる関係機関との連絡調整なども含まれ「子ども版ケアマネ」に近いものになっている。

Q 保育園、幼稚園、認定こども園に入る条件を緩和し、全ての子どもが利用できるよう、今後の

Q 保育園、幼稚園、認定こども園に入る条件を緩和し、全ての子どもが利用できるよう、今後の

その他の質問項目
一、「ゼロ円ソーラー」の取り組み
一、フェーズフリーのトイレ
一、情報格差の解消

立保育園、民間保育園、認定こども園、放課後児童クラブなど連携を密に実施。「189」の周知などが件数の増加傾向にあります。周りの大人が気づき、行動することが増えたことも要因と考えています。

Q NPO法人など、民間との「協働」についての対策を伺います。

A 市長 ● 今年に入って創設された市民団体では、子ども食堂を開催し、文房具の配布や防災食の試食会など行っています。子どもと子育て家庭を対象に活動されている市民団体に対し、必要な支援を行っていると思います。

Q 保育園のあり方の見直しについて伺います。

A 市長 ● 国において有識者による「地域における保育所・保育士等のあり方に関する検討会」での提言がまとめられた。提言では、「多様なニーズを抱えた保護者・子どもへの支援」や「保育所・保育士による地域の子育て支援」など「地域のかかりつけ相談機関」としての役割が期待、今後必要な対応が検討され関係府省が連携して取り組みを進める。

本市におきましても、今後、未就園児を養育している家庭への支援を地域の子育て資源が担っていく上で、特に0歳児から2歳児への支援の強みを持つ保育園や認定こども園の役割強化が重要になり、令和5年度から入園の条件としていた月64時間以上の就労時間を48時間に緩和するなど子育て支援の一層の充実を図ってまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/dKMBIGTax_A

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



安原 透 議員
(野々市フォーラム)

家庭系一般ゴミ有料化の検討について 今後の具体的なスケジュールは

ごみ回収有料化の検討については、広域で取り組む
必要があり、現在、具体的な検討はまだ始めている

Q 第2次総合計画において家庭ゴミ回収有料化の検討がなされている。内容と具体のスケジュールについて伺う。

A 地域政策部長 ● 今後、様々な機会を捉え、ごみの減量化に向けた具体的な施策についても検討させていただきたい。

再質問 資源循環肥料づくりのための生ごみ処理機購入補助をする等、啓発からゴミの循環までの取り組みが必要であると思うがいかがか。

A 地域政策部長 ● 具体には市内の保育園の園児向けにごみ分別を中心とした環境教室を実施、また、市内小学生向けにごみ分別検定、町内会向けにごみ分別研修を例年実施し、ごみ減量化の意識醸成を図ってきた。今年度は白山市、川北町と合同で食品ロスの削減やごみの分別を中心とした啓発チラシを全世帯に配布する予定としている。

Q 家庭系一般廃棄物の減量化、資源循環の取り組みについて伺う。

A 地域政策部長 ● 家庭系一般廃棄物の減量化、資源循環の取り組みについては、市内の保育園の園児向けにごみ分別を中心とした環境教室を実施、また、市内小学生向けにごみ分別検定、町内会向けにごみ分別研修を例年実施し、ごみ減量化の意識醸成を図ってきた。今年度は白山市、川北町と合同で食品ロスの削減やごみの分別を中心とした啓発チラシを全世帯に配布する予定としている。

Q 第41回野々市じゅんからまつりの開催について

A 市長 ● 3年連続での中止となり、市民の皆様が大変残念

Q 社会経験不足につけ込んだ、悪徳商法から若者を守るために、18歳への成人年齢引き下げについて、具体的な取り組みを伺う。

A 市長 ● 責任ある立場の者がしっかりと若い方々に対して発信をしていくことは大事な事なので、様々な機会や動画配信等も検討させていただき、きめ細やかな対応を心がけてまいりたい。

Q 18歳に引き下げられた成人年齢の課題と対応について

A 地域政策部長 ● 現在、具体的な検討は現状まだ始めている。市民の負担が増えることへの御理解が不可欠という側面からも、中長期的な視野で家庭ごみ処理有料化の導入の有無も含め、ごみ処理を担う白山野々市広域事務組合、また白山市、川北町と検討をしていきたい。

再質問 市長はじめ行政が開催の可否を判断出来る体制にしたい。所見を伺う。

A 市長 ● 市民が主役の祭りとなつているので、体制についてはこれまで同様とさせていただきたいと考えている。

Q イベント開催の可否の判断基準、指針の作成について

A 健康福祉部長 ● 国から「基本的対処方針」に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」の通知が今年の5月に出されている。県や市のホームページで御覧いただけるので、これらの情報を参考に実施の判断をしていただきたい。

再質問 市長はじめ行政が開催の可否を判断出来る体制にしたい。所見を伺う。

A 市長 ● 市民が主役の祭りとなつているので、体制についてはこれまで同様とさせていただきたいと考えている。

再質問 市長はじめ行政が開催の可否を判断出来る体制にしたい。所見を伺う。

A 市長 ● 市民が主役の祭りとなつているので、体制についてはこれまで同様とさせていただきたいと考えている。

再質問 市長はじめ行政が開催の可否を判断出来る体制にしたい。所見を伺う。

A 市長 ● 市民が主役の祭りとなつているので、体制についてはこれまで同様とさせていただきたいと考えている。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/IU1r5qB02jA>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



梅野智恵子 議員
(みのりの会)

新知事誕生により、市長として県との 連携強化を構築するための優先課題は

北陸新幹線延伸による交流人口拡大、
新型コロナ感染対策の連携に取り組む

Q 新知事・前知事と市長の連携について

A 市長 ● 産官学連携により、石川県立大学とは連携してまちづくりに取り組んできた。新理事長においては県政の発展に尽くされた豊富な知見をお持ちであることから引き続き本市にご助言いただくことをお願いしてまいりたい。

Q 谷本前知事が今年度より石川県公立大学法人理事長にご就任された。石川県立大学を有する本市として今後新理事長との関係構築を伺う。

A 市長 ● 産官学連携により、石川県立大学とは連携してまちづくりに取り組んできた。新理事長においては県政の発展に尽くされた豊富な知見をお持ちであることから引き続き本市にご助言いただくことをお願いしてまいりたい。

Q 谷本前知事が今年度より石川県公立大学法人理事長にご就任された。石川県立大学を有する本市として今後新理事長との関係構築を伺う。

A 市長 ● 産官学連携により、石川県立大学とは連携してまちづくりに取り組んできた。新理事長においては県政の発展に尽くされた豊富な知見をお持ちであることから引き続き本市にご助言いただくことをお願いしてまいりたい。

Q 新知事は今6月補正で子ども医療費の助成拡充に着手された。新知事の教育、子育て施策における知見経験を生かし、本市の子育て施策において今後特に連携し、力をいれる課題は何か伺う。

A 市長 ● 新知事が子ども医療費の助成拡充に取り組まれたことは子どもが増加している本市としても歓迎している。本市としては第二次総合計画の基本目標の一つに「心のかよう福祉のまち」を掲げており、安心して子育てができるまちを実現したい。

Q 新知事は今6月補正で子ども医療費の助成拡充に着手された。新知事の教育、子育て施策における知見経験を生かし、本市の子育て施策において今後特に連携し、力をいれる課題は何か伺う。

A 市長 ● 新知事が子ども医療費の助成拡充に取り組まれたことは子どもが増加している本市としても歓迎している。本市としては第二次総合計画の基本目標の一つに「心のかよう福祉のまち」を掲げており、安心して子育てができるまちを実現したい。

Q 本市小中学校では児童生徒の日傘利用は原則許可しているが、実際利用している生徒はほとんど見えない。児童生徒の日傘利用について学校側として保護者に通知しているのか、また日傘利用について見解と推奨してはいいかが伺う。

A 教育長 ● 児童生徒の登下校中のマスク着用については、着用する息苦しさや互いの表情を介したコミュニケーション不足にもよる目に見えないストレスも蓄積しているのではと推察している。文部科学省からの通知を受け、熱中症など健康被害のおそれがある場合はマスクを外すことや熱中症の対応を優先するよう、校長会でも指示した。今後も国や県の通知や指針を注視し対応する。

Q 本市小中学校では児童生徒の日傘利用は原則許可しているが、実際利用している生徒はほとんど見えない。児童生徒の日傘利用について学校側として保護者に通知しているのか、また日傘利用について見解と推奨してはいいかが伺う。

A 教育長 ● 児童生徒の登下校中のマスク着用については、着用する息苦しさや互いの表情を介したコミュニケーション不足にもよる目に見えないストレスも蓄積しているのではと推察している。文部科学省からの通知を受け、熱中症など健康被害のおそれがある場合はマスクを外すことや熱中症の対応を優先するよう、校長会でも指示した。今後も国や県の通知や指針を注視し対応する。

Q 本市小中学校では児童生徒の日傘利用は原則許可しているが、実際利用している生徒はほとんど見えない。児童生徒の日傘利用について学校側として保護者に通知しているのか、また日傘利用について見解と推奨してはいいかが伺う。

A 教育長 ● 児童生徒の登下校中のマスク着用については、着用する息苦しさや互いの表情を介したコミュニケーション不足にもよる目に見えないストレスも蓄積しているのではと推察している。文部科学省からの通知を受け、熱中症など健康被害のおそれがある場合はマスクを外すことや熱中症の対応を優先するよう、校長会でも指示した。今後も国や県の通知や指針を注視し対応する。

Q 政府のマスク着用の見解発表に伴い、子どもたちへのマスク着用について学校内で緩和要件の指導はされているか、またマスク着用の子どもの現状と心境をどのように受け止めているか伺う。

A 教育長 ● 児童生徒の登下校中のマスク着用については、着用する息苦しさや互いの表情を介したコミュニケーション不足にもよる目に見えないストレスも蓄積しているのではと推察している。文部科学省からの通知を受け、熱中症など健康被害のおそれがある場合はマスクを外すことや熱中症の対応を優先するよう、校長会でも指示した。今後も国や県の通知や指針を注視し対応する。

Q 政府のマスク着用の見解発表に伴い、子どもたちへのマスク着用について学校内で緩和要件の指導はされているか、またマスク着用の子どもの現状と心境をどのように受け止めているか伺う。

A 教育長 ● 児童生徒の登下校中のマスク着用については、着用する息苦しさや互いの表情を介したコミュニケーション不足にもよる目に見えないストレスも蓄積しているのではと推察している。文部科学省からの通知を受け、熱中症など健康被害のおそれがある場合はマスクを外すことや熱中症の対応を優先するよう、校長会でも指示した。今後も国や県の通知や指針を注視し対応する。

Q 全国の小中学校や県内一部小中学校では体操服の登下校を認めているところがあり、着替えなくてよい児童生徒がいることで更衣室の密の緩和にもなる。夏の間ベースは制服着用としながら体操服通学の許可を検討してはいいかがか。

A 教育長 ● 着替えによる衛生面への指導、心構えなどの生徒指導、整理整頓などの生活スキルを身に付けさせる機会ともなっており、学校では生活のきまり等において制服や体操服の着用について定めている。本年4月からコミュニケーションができたことで、それぞれ各々学校も、またいろいろな観点から児童生徒のための様々なご意見を頂戴したいというふうにご検討している。

Q 全国の小中学校や県内一部小中学校では体操服の登下校を認めているところがあり、着替えなくてよい児童生徒がいることで更衣室の密の緩和にもなる。夏の間ベースは制服着用としながら体操服通学の許可を検討してはいいかがか。

A 教育長 ● 着替えによる衛生面への指導、心構えなどの生徒指導、整理整頓などの生活スキルを身に付けさせる機会ともなっており、学校では生活のきまり等において制服や体操服の着用について定めている。本年4月からコミュニケーションができたことで、それぞれ各々学校も、またいろいろな観点から児童生徒のための様々なご意見を頂戴したいというふうにご検討している。

Q 全国の小中学校や県内一部小中学校では体操服の登下校を認めているところがあり、着替えなくてよい児童生徒がいることで更衣室の密の緩和にもなる。夏の間ベースは制服着用としながら体操服通学の許可を検討してはいいかがか。

A 教育長 ● 着替えによる衛生面への指導、心構えなどの生徒指導、整理整頓などの生活スキルを身に付けさせる機会ともなっており、学校では生活のきまり等において制服や体操服の着用について定めている。本年4月からコミュニケーションができたことで、それぞれ各々学校も、またいろいろな観点から児童生徒のための様々なご意見を頂戴したいというふうにご検討している。

Q 全国の小中学校や県内一部小中学校では体操服の登下校を認めているところがあり、着替えなくてよい児童生徒がいることで更衣室の密の緩和にもなる。夏の間ベースは制服着用としながら体操服通学の許可を検討してはいいかがか。

A 教育長 ● 着替えによる衛生面への指導、心構えなどの生徒指導、整理整頓などの生活スキルを身に付けさせる機会ともなっており、学校では生活のきまり等において制服や体操服の着用について定めている。本年4月からコミュニケーションができたことで、それぞれ各々学校も、またいろいろな観点から児童生徒のための様々なご意見を頂戴したいというふうにご検討している。

Q 全国の小中学校や県内一部小中学校では体操服の登下校を認めているところがあり、着替えなくてよい児童生徒がいることで更衣室の密の緩和にもなる。夏の間ベースは制服着用としながら体操服通学の許可を検討してはいいかがか。

A 教育長 ● 着替えによる衛生面への指導、心構えなどの生徒指導、整理整頓などの生活スキルを身に付けさせる機会ともなっており、学校では生活のきまり等において制服や体操服の着用について定めている。本年4月からコミュニケーションができたことで、それぞれ各々学校も、またいろいろな観点から児童生徒のための様々なご意見を頂戴したいというふうにご検討している。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/v8ZM9_e66eo

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



北村 大助 議員
(野々市フォーラム)

旧大倉外科医院跡地取得の件、市民に理解を得られる説明ができるのか

取得出来れば、利用方法の具体案をお示ししたい

- Q** 旧大倉外科医院跡地取得について
- A** 令和元年9月の予算決算常任委員会の席上で「旧大倉外科医院跡地の用地を取得致したく、土地開発公社に対する債務保証として起債の限度額を設定する。」との説明を受け、執行部を信頼し賛同しましたが、3年近く経過するような事案だとは議会で説明を受けていません。交渉状況が難航していると受け止めますが、どのような点で合意に至らないのか。
- A** 副市長 ● 用地交渉の状況ですが、平成29年11月から地権者と交渉を致しており、平成30年度は1回、令和元年度は5回、令和2年度は4回、担当課が直接面会して交渉を行っています。令和3年度は新型コロナウイルス防止の観点から電話による交渉を続けてまいりました。直近での面会交渉は先月、交渉を行っております。これまでに面会による交渉は累計11回行っております。現在、交渉中の案件でありますので、どのような点で合意に至らないのかという内容については答弁を控えさせていただきます。

北村 ● 本町交差点、四つ角のパーキングで物事を考えなければ、玄関



- Q** 本件について、いつまでも待つということは率直に同意出来ない。市民に果たして理解を得られる説明が出来るのでしょうか。改めて明確かつ具体的な説明も併せて伺います。固持することに値する事案なのか、市民にも疑問視する声があるのか。
- A** 副市長 ● 本町交差点に面しており、交通量が非常に多く、路線バスも走行する場所でございます。まずは見通しのよい空間の確保を優先してまいりたい。また旧北国街道の西側の玄関口でありますので、取得出来れば利用方法の具体案をお示ししたい。

- Q** 市営墓地公園整備事業について
- A** 副市長 ● 本町交差点に面しており、交通量が非常に多く、路線バスも走行する場所でございます。まずは見通しのよい空間の確保を優先してまいりたい。また旧北国街道の西側の玄関口でありますので、取得出来れば利用方法の具体案をお示ししたい。

- Q** 地域政策部長 ● 只今、秋の開園に向けて着実に準備を進めているところです。
- A** 市長 ● 補足をさせていただきます。内見会開催日時等、現在、開園に向けて詳細な墓石の標準や申込手続の流れ等、最後の詰めを検討している段階で、これらの事が固まり次第、販売価格や内見会の具体的な日時等ご案内につきましては、市の広報やホームページ等を通してお示ししてまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/FfqQfiilFnY>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



向田 誠市 議員
(野々市フォーラム)

35人学級から30人学級に移行された場合の本市に於ける各学校の教室確保はできるのか

文部科学省の35人学級から30人学級への移行については、国の方針が示された段階で、具体的な対応について検討する

- Q** 新型コロナウイルス感染症の件
- A** 健康福祉部長 ● 12歳未満接種は9月30日までで、努力義務の規定は適用されない接種で、二回目完了接種率は15.4%です。
- Q** 若年層の接種率向上が、本市の感染者数低下に繋がるのでは。
- A** 健康福祉部長 ● 市役所ホール棟の集団接種と、市内25カ所の医療機関接種により、接種対象者40,715人に対する接種率は60.7%。
- Q** 4回目ワクチン接種及びマスク着用緩和規制に関する、本市の見解と対応は。
- A** 市長 ● 5月下旬より医療機関でファイザー社ワクチンで先行接種開始し、7月21日より武田/モデルナ社ワクチンで集団接種を開始する。マスク着用規制については、蔓延防止対策と同様に、市民の皆様には感染防止対策に努力して取り組んでほしい。

- Q** 学校教育に関する件について
- A** ボランティア人材バンク登録の上限と、どのような特・技能の方の採用を予定しているのか。また、市外からの採用も検討しているのか。
- A** 教育部長 ● 登録者数の上限を設定せず、市内外を問わず、本市に関心のある幅広い層の方からの登録をお願いし、子ども達の育成に関わる課題解決に向けた企画・立案をお願いし、その内容を具体化して頂き、「地域とともにある学校づくり」を進める。
- Q** 本市の「マンモス校」と言われている野々市小学校、富陽小学校2校の教室確保に向けた対応は。
- A** 教育長 ● 以前の答弁から大枠での考えは変わっていない。何れの小学校においても、ここ1、2年でピークを迎え、野々市中学校はここ2、3年がピークで、その後減少に転じるので、ピーク時の教室不足数を見極めながら、土地区画整理事業による児童・生徒数の動向を注視してまいりたい。

- Q** 文科省が30人学級に移行した場合、本市における小中学校教室確保のために、私立小中一貫校及び校区割を検討されては。
- A** 教育長 ● 教室不足による私立小中一貫校の誘致は考えず、校区割につきましては、以前からの検討課題の一つとして認識しております。
- Q** 本市中学校いじめ問題の件
- A** 該当中学校の学校評価表より「いじめ問題欄」を削除したのは何故か。
- A** 教育長 ● 「いじめ」だけに限定せず、暴力行為や不登校といった問題行動等への対応も改善すべきと捉え、「問題行動等」との表記に設定したと伺っております。
- Q** 第三者委員会より何らかの報告があったのか。有ったとするなら何故議会に報告されないのか。
- A** 市長 ● 第三者委員会にもご意見を伺いながら、公表できる時期が参りましたら、適切に対応してまいりたいと考えております。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/7fzjcbEA3DM>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

議会改革・活性化特別委員会 視察報告

7月8日、津幡町議会にて通年議会について視察を行いました。通年議会とは、定例会・臨時会の区分ではなく、通年にわたり会期を設定し、必要に応じて本会議や委員会を開催できるようにする制度です。

通年議会には、金沢市・白山市・内灘町が導入している定例会方式と、津幡町・中能登町・能登町が導入している通年会期方式があります。

本市を含め、多くの議会が年4回の定例会の会期制をとっていますが、議会の招集権が首長にあり議会が主導的に会議を開けないことや、専決処分が常態化する危険性があることから、議会改革・活性化特別委員会で通年議会の導入を検討することになりました。

先だって1月に白山市議会にて視察を行い、今回の津幡町議会での視察で、2種類の方式を学ぶことができました。



通年議会について 津幡町議会を視察

今後は、どちらの方式が本市の議会に向いているか議論を重ね、慎重に結果を導き出したいと思っています。

議会基本条例の制定、タブレット端末の導入と、議会改革を進めてきた野々市市議会は、これらも着実に議会改革に取り組んでいます。



視察終了後には、議会会議室に隣接する議場も見学させていただきました。

津幡町役場は令和3年1月に供用開始されたばかりの新庁舎です。議場は傍聴者に配慮されたバリアフリー設計であり、演台や席には石川県産の木材が使用されています。天井の窓から自然光が入り込む開放的で明るい議場でした。

表彰

全国市議会議長会表彰 北信越市議会議長会表彰

辻 信行 議員

杉林 敏 議員

中村 義彦 議員

西本 政之 議員

市議会議員として10年間在職し、市政の振興、発展に努められた。



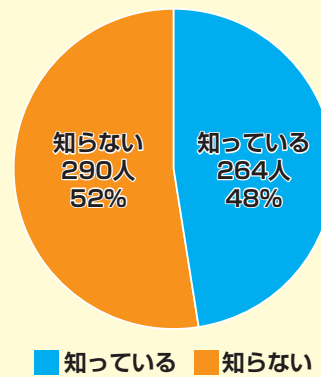
(前列右) 中村義彦議員
(前列左) 杉林敏議員
(後列右) 西本政之議員
(後列左) 辻信行議員

市民の声をお聴きしました。
ご協力ありがとうございました。

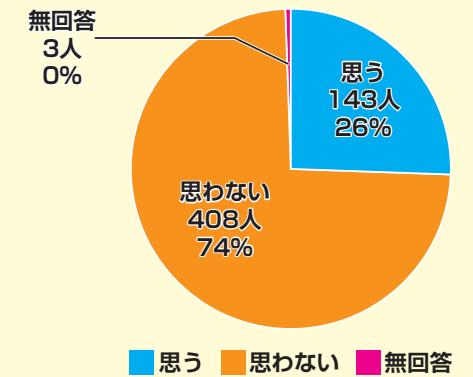
議会アンケート結果報告②

野々市市議会では、令和4年1月5日から1月20日までの間、無作為抽出した18歳以上の市民1,500人に対しアンケート調査を行ったところ、回答率は37%でした。アンケート調査の結果を3回に分けて議会だよりに掲載していきます。

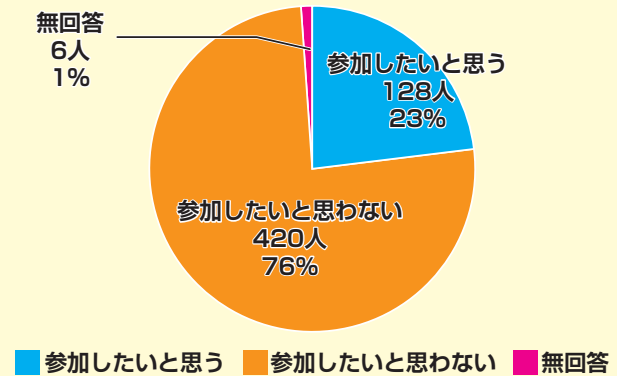
設問4. 市議会を傍聴できることを知っていますか。



設問5. 市議会を傍聴したいと思いますか。



設問6. 今後、議会報告会が開かれたら、参加したいと思いますか。



アンケート結果の分析

設問4の「市議会を傍聴できることを知っていますか」では、知っていると答えた方が48%だったのに対し、知らないと答えた方が52%でした。20代・30代の方に知らないと答えた方が多く、若者世代への周知の方法が課題です。設問5の「市議会を傍聴したいと思っていますか」と、設問6の「今後、議会報告会が開かれたら、参加したいと思いますか」では、約3/4の方が思わないと回答しており、議会に対する関心の低さを痛感させられました。設問1から設問3の結果と同様に、いかに議会に関心を持っていただけるかという課題が浮き彫りになりました。様々な場面で私たちの存在と活動を皆さんに知っていただくことと、それぞれの世代に届く発信方法を複数用意することが必要であると実感いたしました。

今後、市民の皆さんと議会が、様々な形でやりとりができるような方法も検討していきたいと思っています。

調査結果は市議会ホームページにも掲載しています。
<https://www.city.nonoichi.lg.jp/site/sub-gikai/37880.html>

採択された意見書

食料危機のもとでの国産食料の増産、食料自給率向上、農家経営支援強化を求める意見書

① 燃油、飼料、肥料、農業資材等の高騰に対する農家への直接支援策を早急に講じること。

② 水田活用の直接支払交付金の見直しを中止するとともに、経営所得安定対策を抜本的に見直し、自給率が低い麦・大豆・飼料作物など畑作物への支払額の大幅増額を行うこと。

③ 食料自給率向上にむけて、生産努力目標の引き上げ、ミニマムアクセス米の輸入中止・調整を含めた需給調整と直接支払い・不足払い制度の実施、穀物・乳製品等の備蓄制度の拡充・創設、予算の拡充を行うこと。

9月定例会の予定 会期：9月6日(火)～28日(水) (23日間)



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 午前 10 時～ 本会議 開会	7	8	9	10
11	12	13 午前 10 時～ 本会議 一般質問	14 午前 10 時～ 本会議 一般質問	15 午前 9 時 30 分～ 予算決算常任委員会	16 午前 9 時 30 分～ 予算決算常任委員会	17
18	19	20 午前 9 時 30 分～ 予算決算常任委員会	21 午前 10 時～ 総務産業常任委員会 午後 2 時～ 教育福祉常任委員会	22 午前 10 時～ 体育施設等に関する 調査特別委員会 午後 2 時～ 議会改革・活性化特 別委員会	23	24
25	26	27 午前 10 時～ 予算決算常任委員会	28 午後 2 時～ 本会議 閉会	29	30	

議会組織変更のお知らせ

◆議会運営委員会

委員 辻 信行

◆総務産業常任委員会

委員長 土田 友雄

傍聴に際してのお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次の対策を行っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆受付の際、非接触型体温計にて検温させていただきます。検温の結果、37度5分以上ある場合は、傍聴をご遠慮いただきます。

◆マスクを着用してください。マスクはご自身で用意してください。

◆議場の入退場時に手指の消毒をお願いいたします。

◆傍聴者の距離を確保するため、傍聴席数を制限しています。